

令和2年度 豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略委員会  
第2回会議 議事要旨

- 日時 令和2年(2020年)10月20日(火)18時00分～19時15分  
場所 ZOOMによるWEB会議(事務局は第二庁舎3階大会議室)  
出席者 高橋会長、石川委員、山下委員、吉村委員、藤田委員、古川委員、重長委員、  
相馬委員 計8名  
事務局 榎本都市経営部長  
都市経営部経営計画課：寺田、坂本、島、上田  
案件 1. 前回の振り返り  
2. 答申案について  
3. 第2期豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPIの補足について  
4. その他  
資料 【資料1】第1回豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略委員会 議事要旨  
【資料2】豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況の検証について(答申案)  
【資料3】第2期豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPIの補足資料(案)

会議録 下記のとおり

記

●開会

●成立要件の確認

事務局

本委員会規則第6条第2項の規定により、会議の成立には委員の過半数の出席が必要です。本日は委員総数8名中、8名の委員の出席をいただいておりますので、成立要件を満たしております。

●資料の確認

(事務局より配布資料について説明)

会長

それでは、案件1「前回の振り返り」を事務局から説明してください。

●案件 1. 前回の振り返り

事務局

前回の委員会でご審議いただいた内容についての振り返りをご説明いたします。また、前回の審議中にご質問いただいた内容につきましても、振り返りの中でご回答いたします。

(「【資料 1】 第 1 回豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略委員会 議事要旨」をもとに説明)

会長

ただいまのご説明についてご質問、ご意見はありますか。

(意見なし)

次に、案件 2「答申案について」を事務局から説明してください。

●案件 2. 答申案について

事務局

前回の審議内容をふまえた答申案及び答申までのスケジュールについてご説明いたします。

(「【資料 2】 豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況の検証について(答申案)」をもとに説明)

会長

ただいまの説明についてご質問・ご意見はございませんか。

答申案については、11 月中旬に完成させるとのことですので、本日皆さまから様々なご意見をいただければと思います。答申案の審議結果の部分は、皆さまからのご意見で特に強調された部分が入っているように思いますが、不足している内容がございましたら、ご意見をいただければと思います。

自然増の部分は、様々なご意見をいただきました。この文面をご覧いただき、何かお気づきの点がございましたらお願いします。

委員

自然増の書きぶりについては問題ないかと思えます。しかしながら、今年の 1~2 月からの新型コロナウイルス感染症について、日本を含めて世界中でまだ収束していません。こういった現状の中で、コロナに関する言及が少ししかないのが気になります。国全体を変えていくような重要問題であり、まち・ひと・しごと創生総合戦略とも密接に関わっていると思えますので、もう少し踏み込んだ文面を作ることはできないのでしょうか。

会長

例えばどういう点で、コロナについての言及が足りないと思われますか。もし具体的な内容がございましたらお願いします。

委員

言及が足りないというより、ほとんど言及されていないように感じます。

会長

たしかに、答申案では「新型コロナウイルス感染症の流行に対応した」という部分しかありません。それに不足感があるということですね。

委員

「新しい生活様式などの影響を鑑みて、要因分析を進められたい」という部分も意味がわかりにくいです。

会長

事務局、いかがでしょうか。

事務局

第2期総合戦略の進捗管理をしていくなかで、コロナがどのような影響を与えたのかも含めて要因分析をしていく必要があるということで記述しております。このコロナの影響につきましては、案件3でもご説明いたしますが、第2期総合戦略のKPIについて補足していこうと考えております。今回の答申案の審議結果は、第1期総合戦略の総括という面で文面を作成しておりますが、コロナに関して具体的にこんなことを書き込んだ方がよいといったご意見をいただければと思います。

会長

そうしましたら、案件3の説明が終わった後に、もう一度この件についてご意見をいただくということで、よろしいでしょうか。

委員

承知しました。

会長

要因分析については、様々なご意見をいただきました。過不足等がございましたらお願いします。

#### 委員

これまでも申してきましたように、何が原因かを突き詰める意味で、要因分析はすごく重要なことです。しかし要因分析だけでは不十分で、要因分析を行ったうえで、それを政策評価までつなげていくことも重要です。ですので、このことを審議結果に追加してほしいと思います。例えば、「要因分析を行い、適切な政策評価につなげていただきたい」という文面を書き込むと、分析から評価へつながっていることが見えるのではないかと思います。最近EBPMというデータ分析を踏まえたうえでの政策立案が非常に重要だと言われているので、そこまで表現していただくと答申案がより良くなると思います。

#### 会長

審議結果の1番の下から4行目の「引き続き要因分析に力を入れて進捗管理を行われたい。」の部分に、「要因分析を政策評価につなげてほしい」という表現を追加してほしいというご意見です。たしかに原因と結果が要因分析によってはっきり分かれば、それが政策に活かされることになりますので、今のご意見はご検討いただきたいと思いますが、事務局いかがでしょうか。

#### 事務局

ご意見をふまえて、修正させていただきたいと思います。

#### 会長

前回第2期総合戦略のKPIについてご意見をいただきましたが、審議結果で不足していると感じる部分はございますか。

#### 委員

審議結果の2つ目の「令和元年度地方創生関係交付金に係る事業報告について」の部分で、私は先日この事業を行っている担当課及び事業者と話をする機会がありました。やはり文面でみるより多様なことを行っているとわかりました。その意味でも、3行目にある「一定の効果があることが認められる」や5行目の「就労困難者にとって、就労につながる非常に重要な事業である」は非常に一般的で抽象的な感じがします。それを補う意味で、3段落目で「どういったプロセスで行っているのかを写真等を用いてわかりやすく発信することを心掛けたい」と書いてありますが、どういったプロセスに加えて、この事業で何をしているのか、現場で何が行っているのかを伝えていくということを答申案に書き込めないかと思いました。

#### 会長

文面などで具体的な案はございますか。

#### 委員

例えば、最後の一文に「写真等を用いて」とありますが、今はSNSなど様々なメディアがありますので、写真だけでよいのか疑問に思います。また3行目で「一定の効果」が得られたのであれば、効果の具体例を書いてもいいように思いました。例えば、高齢の方が集まられて内職をしている事業があります。この事業の内職は、経済の意味での内職とは別に、みんなで集まって話をする場にもなっていて、高齢者の居場所と連動しています。このような就職数といった価値だけで表せないことも文面に書いていただけないかと思います。答申書に具体例を書くことは難しいと思いますが、「この事業はこういうところが重要です」といった具体的な内容があれば、伝わりやすいように思いました。

#### 会長

答申書のお作法みたいな部分もあって、事務局の方もまとめるのが難しいかもしれませんが、今のご意見についてもご検討いただければと思います。事務局いかがでしょうか。

#### 事務局

具体的に書くことで見えてくる部分もあると思いますので、文案については工夫させていただきます。

#### 委員

答申案について質問させていただきたいのですが、先ほどの委員のご指摘にありました2番のところで、地方創生関係交付金の事業が重要だということはわかりましたが、答申案の構成で、いろんな事業がある中でこの事業の報告だけをピックアップしている理由はあるのでしょうか。

#### 会長

昨年までの事業について、これまでの委員会ではビジュアルで報告を受けていたのですが、それを答申書にうまく反映できないというジレンマがありました。それが今の委員の疑問につながっているのかもしれませんが。事務局いかがでしょうか。

#### 事務局

答申書の審議結果につきましては、1番で総合戦略の進捗状況に関する審議結果、2番では国から交付金に関する事業という形で分けております。市が行っている様々な事業は、総合戦略に位置づけられているものですので、1番に集約されますが、2番の交付金の事業に関しては、国から毎年度、まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく事業に対する交付金の募集があり、市から申請しているものになります。この交付金につきましては、各自治体の地方創生に資する取組みのうち、先駆性があり、かつ他自治体へ横展開可能なものについて、

国が支援しているものになりますので、そういう意味で、この交付金に関しまして、別枠でご紹介させていただいております。

委員

交付金を別枠で紹介していて、その中から今年度は働き方改革の事業をピックアップしたということでしょうか。

事務局

地方創生推進交付金につきましては、都道府県や市町村によって申請の上限が決まっております。市町村は原則5事業が上限となっています。本市では、平成28年度から平成30年度の3年間は2事業を申請しておりましたが、令和元年度は1事業のみ申請しておりますので、その1事業を紹介させていただいているところです。

委員

ありがとうございます。承知しました。

会長

この資料が市民の目にも触れることを考えれば、今の委員のご意見ももっともだと思います。見せ方について何らかの工夫ができるようであればお願いします。

委員

2番の交付金のところの発信についての部分ですが、これは市のホームページに掲載して発信していくとか、そのようなイメージでよろしいのでしょうか。

事務局

市のホームページも1つの手法だと考えております。また、本市ではTwitterやFacebookといったSNSもございますので、担当課と相談することになりますが、いろんな人の目につくような発信方法を検討していく必要があると思いますので、答申案にも書かせていただいたところでございます。

委員

ありがとうございます。今仰っていただいたSNSの活用はより多くの人に見ていただけることになると思いますので、ぜひ検討いただければと思います。

#### 委員

答申案が段々と私たちの意見を具体的に書いていただけるようになってよかったですと感じています。しかし私も先ほどの委員と同じで、新型コロナウイルス感染症の影響を今後どうするのかについて、審議結果にある「新しい生活様式などの影響」の範囲だけではなくなっていると思います。就労形態の変化や教育のあり方の変化など非常に多くの影響が出ていると思いますので、「新型コロナウイルス感染症の流行により社会の形態も大きく変わってきたので、今後は注意深く見ていく必要がある」といったような書き方でもいいのかと思いました。生活様式に限った書き方ですと、影響が小さいように感じました。

#### 会長

たしかにコロナウイルスによって健康被害にあわれた方もいれば、経済的な損失を大きく受けた方もおられます。このあたりの表現がどのように市民に伝わるのかも考える必要があるのかもしれません。事務局いかがでしょうか。

#### 事務局

案件3の部分でもコロナに関する様々なご意見をいただくとしますので、それをふまえて文案を修正させていただきたいと思います。

#### 委員

「まち・ひと・しごと」の3つを掲げていますが、「しごと」についての文面が少ないように感じます。2番の交付金のところで地域企業のお話が出てきますが、事業者側の仕事に対する施策といったコメントを入れていただけないのかと思いました。

#### 事務局

地方創生推進交付金を活用しましたステップアップ事業につきましては、就労困難者への支援の一環として地域企業への職業体験を行っております。企業の方々には、そのための受入プログラムを作成いただいております。このあたりを盛り込めるよう文案を修正させていただきます。

#### 会長

この委員会は、市からの諮問に対して答申するという側面があり、総合戦略がきちんと進捗しているのかという検証が主な内容となっていて、ここに新たな事業の提案などを盛り込むことは難しいと思います。ただ今の委員が仰ったようなことも案件3のKPIの補足の部分でご確認いただきながらご意見をいただければと思います。

委員

審議結果の2番の最後の文で「心掛けたい」とありますが、これは答申なので、「心掛けるようにされたい」の方がいいように思います。

会長

文面がわかりやすいかの確認については事務局に見直していただきたいと思います。

それでは、案件3「第2期豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPIの補足について」を事務局から説明してください。

●案件3. 第2期豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPIの補足について

前回の委員会で新型コロナウイルス感染症の影響を鑑みて、第2期総合戦略を見直すかについて、様々なご議論をいただき、ありがとうございました。

いただきましたご意見をふまえ検討しました結果、第2期総合戦略を見直すのではなく、今のKPIに補足する形でKPIを追加したいと考えております。

(事務局より「【資料3】第2期豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPIの補足資料(案)」をもとに説明)

会長

だいたい資料3についての説明を受けましたが、審議結果のコロナに関する部分で先ほど委員の方からご意見をいただいて部分で言いますと、「基本目標(2)働く場をつくるまち」の部分と「基本目標(3)地域でつながり支え合うまち」の部分の対応が当てはまるように感じました。お二方ともいかがでしょうか。

委員

少し言い方が悪いかもしれませんが、こんなのきなことを言っていていいのかという印象を受けました。私の周りの知人や友人、ビジネスで関わっている人たちの話を聞いていると、コロナで仕事がダメになって、国や大阪府への補助金の申請ばかりしていると言っています。また国が多額の補助を出すと言っている中で、このような指標でいいのかと疑問に思います。現実に廃業もしくは廃業間近の企業を調査する術はないのかという印象を受けました。

会長

今いただいたお話は、この委員会の議論を超えて非常に切迫した現状をお話しいただいたものだと思います。この委員会では、そこまで議論する権限は与えられていないところではありますが、今のコロナ対策に関して、審議結果にある「新しい生活様式などの影響も鑑みて」という表現だけでなく、働く場の関係や地域で支え合う関係のことについてもこれか



ら指標でも見ていくということであれば、もう少し力強く文章でも書きあげていくことができるのではないかというご意見だと思います。

委員

1つ質問ですが、「交通空白地」とは何ですか。どういう定義なのでしょう。

事務局

交通空白地とは、電車の駅から半径1キロ及びバス停から半径500メートル以外の地域をさします。

委員

駅とバス停から円を描いていって、どの円にも属さない部分というイメージですか。

事務局

そのとおりです。

委員

わかりました。また基本目標(5)に追加された「ICTの活用に関する児童生徒及び教員向けアンケート調査から引用予定」には、今回のコロナで発生したオンライン授業に受けられる環境にあるかどうかも調査項目にあれば活かせるということでしょうか。これは授業においてのICTの活用だけでなく、各家庭の環境を整えているかの部分も重要になってくると思いますが、このアンケート調査でそれはわかるのでしょうか。

事務局

本市としましては、今年度一人1台タブレットの導入に取り組んでおります。こちらのアンケートにつきましては、一人1台タブレットを導入したのち、どのように活用していくのか、例えば「オンライン授業をどのくらい活用していますか、オンライン授業はわかりやすかったですか」といった内容を教員・児童生徒それぞれにアンケートすると担当課から聞いております。

委員

ありがとうございます。そこで何か見えてくるのであれば、このアンケート調査も意味があるものだと思います。答申案につきましては、もう少し深刻さがほしいと思いますので、先ほど会長が仰っていただいたように、新しい生活様式の影響だけでなく、今後様々なところに深刻な影響が出てくるので注意深く見守る必要があるというような表現に変えていただけるといいように思います。

会長

元々このKPIの補足についてはKGIとの紐づけをしっかりとっていくためには、どういう指標を見ることでそれがわかりやすくなるのか、そしてそれが要因分析につなげていくことができるのか、ということが議論としてあったかと思います。しかしこのコロナの関係で、感染者の重症者の数は落ち着いたものの経済的なところを考えると今以上に苦しくなる業界・業種があるだろうというお話がありまして、その気持ちが審議結果にも少しでも反映できたらということだと思えます。委員の皆さまのお気持ちが少しでも市長に伝わるような文面にする必要があると感じています。皆さまからいただいたご意見をふまえ、答申書にまとめていきたいと思いますが、時間の関係上会長に一任していただくということでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございます。それでは、皆さまからいただいたご意見を反映できるよう調整してまいります。答申書が完成しましたら、皆さまにお送りいたしますので、よろしく願いいたします。

最後に案件4「その他」について、事務局から説明してください。

●案件4. その他

事務局

連絡事項が1点ございます。

(連絡事項の伝達)

当委員会は本日が最後になりますので、都市経営部長からご挨拶させていただきます。

都市経営部長

(挨拶)

会長

それでは、これで豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略委員会を閉会します。

ありがとうございました。

●閉会

以上